

(資料2) 所内公募型研究制度の実施状況

1. 平成18年度奨励研究

年度2回の募集により、基盤的研究10課題、先見的・萌芽的研究11課題、長期モニタリング2課題の計23課題を実施した(このうち、前期募集分は前年度に課題採択された12件、後期募集分は本年度に課題採択された11件である)。

タイプ	課題 代表者	研究課題名	研究 期間	年度 予算額 (千円)	事前評価結果					評 価 人 数
					5 の 数	4 の 数	3 の 数	2 の 数	1 の 数	
(前期募集分)										
基 盤 的 研 究	梅津豊司	ジフェニルアルシンの発達影響に関する行動毒性学的研究	2年間 (18~19)	2,700	3	8	2	1	0	14
	宇田川弘勝	霞ヶ浦懸濁物質におけるリンの存在形態の解明	1年間	2,250	2	10	4	0	0	16
	村田智吉	強風化型膨潤性土壌地帯におけるマメ科潜在植生への攪乱行為が土壌C・N stockとその動態におよぼす影響の解明	1年間	2,000	2	8	4	0	0	14
	小林弥生	生体内におけるヒ素の酸化還元と解毒機構	1年間	2,000	3	8	2	2	0	15
	佐竹潔	小笠原における河川環境の劣化と固有種の減少要因の推定に関する研究	2年間 (18~19)	2,000	3	6	6	0	0	15
	斉藤拓也	塩化メチルの炭素安定同位体比測定法の開発と大気観測への応用	1年間	2,000	1	8	4	0	0	13
	豊柴博義	遺伝子ネットワークの構造と生体システムの頑強性	1年間	1,000	2	9	4	1	0	16
	東博紀	地球温暖化による東アジア地域の洪水・渇水リスクへの影響	1年間	1,750	2	5	6	0	0	13
	高橋善幸	自然環境下における植物体のCO2同位体および微量ガス交換特性の評価	2年間 (18~19)	2,000	2	8	5	1	0	16
	佐伯孝	マテリアルリサイクルを支援する素材分離技術の研究	1年間	2,000	0	8	4	0	0	12
	西沢徹	DNAアレイを用いたアブラナ属植物の浸透性交雑解析マーカーの開発	1年間	2,000	2	6	8	0	0	16
	矢部徹	藻場根圏における酸化還元環境と再生技術としての酸素管の活用	3年間 (16~18)	2,230	0	11	3	0	0	14
			小計	23,930						
長 期 モ ニ タ リ ン グ	中村泰男	有明海等における高レベル栄養塩濃度維持機構に関する研究：適正な浅海域管理をめざして	5年間 (14~18)	7,000	2	6	4	0	0	12
	福岡典子	霞ヶ浦エコトーンにおける生物群集と物質循環に関する長期モニタリング	5年間 (15~19)	6,000	1	5	5	0	0	11
			小計	13,000						
(後期募集分)										
先 見 的 ・ 萌 芽 的 研 究	井上智美	水生植物の根からの酸素漏出速度を推定する新しい測定法の開発	1年間	2,800	6	10	3	2	0	21
	曾根秀子	ゲノム疫学健康リスク評価への応用のための基盤技術の確立に関する研究	1年間	3,000	2	14	5	0	0	21
	福島路生	極東ロシアを中心とした絶滅危惧種イトウの保全管理計画	半年間	2,850	1	14	5	1	0	21
	中村宣篤	基底膜形成を担う受容体のクローニングと基底膜培養基質作製への応用	1年間	1,500	2	10	6	1	0	19
	村上理映	拡大生産者責任の概念導入に関する比較分析	1年間	800	3	11	6	2	0	22
	志村純子	海洋環境生物情報の統合化と高度化に関する研究	1年間	1,500	1	12	8	1	0	22
	今里栄男	ヤンバルクイナ(Gallirallus okinawae)の遺伝的多様性評価	1年間	2,700	0	11	9	0	0	20
	鈴木純子	神経幹細胞に対する環境化学物質の影響評価法の確立	1年間	2,766	0	12	7	1	0	20
	大村嘉人	大気汚染地域における地衣類の遺伝子型の違いによる二次代謝産物の変動	1年間	2,000	1	11	8	2	0	22
	久保明弘	分子マーカーを用いたイネ品種のオゾン影響評価手法の開発に関する研究	1年間	2,992	1	9	12	0	0	22
	遠藤和人	並列計算による反応型熱連成多要素多相流解析へのアプローチ	半年間	2,400	5	5	6	5	0	21
		(評価対象24課題、採択11課題)	小計	25,308						
				平成18年度合計	62,238					

2. 平成19年度特別研究

特別研究2課題を採択した。

タイプ	課題 代表者	研究課題名	研究 期間	年度 予算額 (千円)	事前評価結果					評 価 人 数
					5 の 数	4 の 数	3 の 数	2 の 数	1 の 数	
ユニット基盤	牧秀明	貧酸素水塊の形成機構と生物への影響評価に関する研究	3年間 (19~21)	20,000	5	12	3	2	0	22
重点プログラム関連	野原恵子	エピジェネティクス作用を包括したトキシコゲノミクスによる環境化学物質の影響評価法開発のための研究	3年間 (19~21)	20,000	3	15	2	3	0	23
(評価対象6課題、採択2課題)				合計	40,000					

3. 平成19年度奨励研究

基盤的研究2課題、先験的・萌芽的研究4課題、長期モニタリング2課題の計8課題を採択・継続決定した。

タイプ	課題 代表者	研究課題名	研究 期間	年度 予算額 (千円)	事前評価結果					評 価 人 数
					5 の 数	4 の 数	3 の 数	2 の 数	1 の 数	
基盤的研究 (継続)	梅津豊司	ジフェニルアルシンの発達影響に関する行動毒性学的研究	2年間 (18~19)	2,700	0	3	4	0	0	7
	佐竹潔	小笠原における河川環境の劣化と固有種の減少要因の推定に関する研究	2年間 (18~19)	2,000	0	2	4	3	0	9
				小計	4,700					
先見的 ・萌芽的 研究	西村典子	内分泌攪乱環境化学物質の骨代謝への影響と毒性メカニズム	1年間	3,000	2	9	5	1	0	17
	伊藤智彦	ランゲルハンス細胞を用いた皮膚免疫に対する環境汚染物質の影響解析	1年間	3,000	0	6	11	0	0	17
	岡川梓	非競争的市場を仮定した経済モデルの開発と環境税制度の定量評価	1年間	2,500	0	6	7	1	1	15
	神田勲	風速スペクトルに基づいた大気汚染予測モデルの開発	1年間	1,000	0	4	11	1	0	16
				小計	9,500					
長期モニタリング	富岡典子	霞ヶ浦エコトーンにおける生物群集と物質循環に関する長期モニタリング	5年間 (15~19)	6,000	0	4	4	0	0	8
	堀口敏宏	東京湾における底棲魚介類群集の動態に関する長期モニタリング	5年間 (19~23)	10,000	2	9	5	0	0	16
				小計	16,000					
(評価対象16課題、採択・継続決定8課題)				合計	25,500					

【評価】

- 5 大変優れている
- 4 優れている
- 3 普通（研究の実施は可とする）
- 2 やや劣る
- 1 劣る